



初夢号  
(第四号)

「おたけ」  
問

おたけとていふおたけの下の「たけ」の字をきりかへて

# 防炎 おたけの豆版

発行「寺言問」の防炎まじりの考をわいわい会」

昭和61年1月1日

旧年中は、防炎まじりの豆版を愛読していただきまことに誠にありがとうございました。  
 今年は、この豆版が地元・寺言問のまじりの豆版としてふさわしいものになるよう、なお一層内容の充実を努めていきたいと思っております。わいわい会や豆版に関するご意見、ご感想をお寄せ下さい。ごまこと申したがお願ひ申し上げます。

## わいわい会に寄せられた 年賀状

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。



おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。

おたけの豆版の発行を始めてから、今年も「わいわい会」の活動に期待したいです。



英泉園「當世點眼鏡」(部分)



豊国図「岩井半四郎おせん」(部分)

# わいわい会の初夢

準備  
第一

**み** なさん、まず一度わいわい会に参加して下さい。自分の目と耳で感じた感動から、わがまちづくりをきかすためにいいのではないのでしょうか。



東向島一丁目 須賀健

**こ** うつう機関から見放されず、この地域の活性化を図るために、是非交通網を何とかしていただきたいと思っています。この駅へ行くにも、自転車で乗りたくはない現実。それ故の自転車の洪水は直接防災とかわかり、てきます。そんなことも話しあえる会でありたいと思います。ひとりひとりがまちづくりや美化の意識を高め、それを育める会になっていけたらいいのではないかと願っています。

向島五丁目 小倉利夫

**い** ままで一住民の声を、直接区役所の方々に届けてもらうチャンスがありません。わいわい会によって、その場が与えられたことはとてもうれしく思っています。楽しい雰囲気の中で、自由な立場での発言が行政にまで届くような会になっていって、ますますいいと思います。隣人を誘うところからはじめて、地味でも着実に地域に根づく会にしていきたいと思えます。皆さん、是非参加して下さい。

堤通一丁目 人見源一

**わ** いわい会を地域の方々に広めてゆく確実な方法として、反版の内容についても一歩踏み込んで充実したものにしていきたい。自主参加の私は、まだわいわい会について十分な知識は持っていませんが、世話人十四人、相互理解を図り、地域の方々の要石になって行けたらうれしく思います。

東向島三丁目 佐藤滋元



七福神

**隅田川七福神の由来**  
百花園を開いた佐藤鶴丸、江戸の文人墨客が、向島の地にも七福神をそろえようと苦心して探したのが始まり。外郎寺に鬼沙門天、百花園に福祿壽、長命寺に弁財天、弘福寺に布袋尊、三田神社に恵比壽、大國がそろった。が、壽老人だけが見つからない。そこで徳家の末、寺島村の鎮守である白鬚神は白髪の老人の姿をした神だらうと推察を働かせてや、七福神がそろったという。一寺言間に四つもある七福神。あな、たも七福神めぐりをしてみませんか。

わいわい会では、年頃にあたって一寺言問のまちづくりに関する希望や期待のお便りをお待ちしております。お寄せいただいた方から抽選で十名様に「お年玉」(粗品)を送ります。又切は一月十五日。反版掲載までお送り下さい。

**わいわい会「反版編集局」**  
スタッフ  
山本俊哉 村田里美 美大菊枝  
池田成美 渡辺英子 由中栄世  
隅田区模範一丁目六番四  
隅田区東千鳥橋本町栄徳堂  
六二六(三二五)内六五五

バスは隅田川絵図(武蔵第一角河絵図並故跡付)